

エコアクション21 環境経営レポート

71期

【運用期間】 令和4年6月1日～令和5年5月31日

株式会社 木村組

発行日：令和5年6月20日

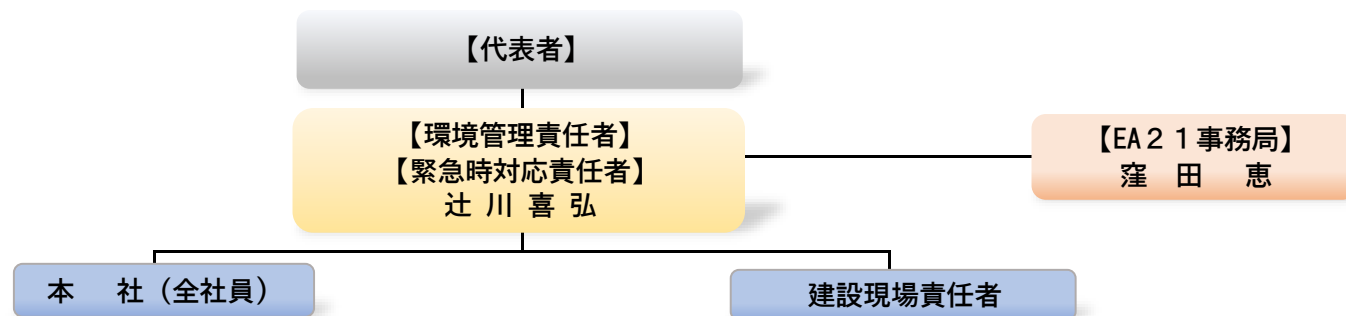
目次

■ 事業概要（対象範囲）	1
■ 実施体制	2
■ 環境経営方針	3
■ 環境経営目標	4
■ 環境経営計画	5
■ 次年度環境経営計画	6
■ 環境経営目標の実績	7
環境経営目標実績グラフによる分析	7-1
■ 取組結果とその評価・次年度の取組内容	8
環境経営目標への取組状況	8-1 ①-④
■ 環境上の緊急事態への準備及び対応及び手順	9
緊急事態の対応に関する訓練の実施	9-1 ①-②
■ 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	10
■ 代表者による全体評価と見直し	11

1.事業概要

- 事業所名及び代表者名 株式会社木村組 代表取締役 木村紘子
- 所在地（本社・倉庫） 〒421-0421
静岡県牧之原市細江1563番地
- 環境管理責任者 取締役 辻川喜弘
- 連絡先 Tel : 0548-22-1315 Fax : 0548-22-1316 ☎ : soumu@kimura-gumi.co.jp
- 事業内容及び許可番号
更新 特定建設業許可 静岡県知事許可(特-30)第1404号
特定建設業許可 静岡県知事許可(特-5)第1404号
〔 土木、建築、大工、とび・土工、コンクリート、屋根、舗装、しゅんせつ
塗装、防水、水道施設、解体工事業 〕
産業廃棄物収集運搬業 静岡県許可番号第02201155283号
(自社運搬のみ)
- 事業規模 資本金 20,000千円
年間完工高 448,427円
会社設立 昭和28年2月18日
事業年度 期首6月 期末5月
従業員数 9名
- EA21対象組織及び活動範囲 株式会社木村組の全体組織及び全事業活動とする
(本社・倉庫、資材置場、工事現場)

2.実施体制



組織名	役 割
代 表 者	・ 環境目標達成に必要な資源（人・物・資金）を調達する。 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営方針の策定 ・ EA21実施報告を評価し、及び必要に応じ見直し指示をする。
環境管理責任者	・ EA21マネジメントシステム構築及び運用の実施責任者である。 ・ 環境目標及び環境活動計画を策定する。 ・ 組織の環境活動を、指揮監督する。 ・ 組織の環境活動が、定められた環境目標を達成できるかを監視する。 ・ EA21実施報告を代表者に報告する。
EA21 事 務 局	・ 文書作成等において、環境管理責任者の補助を行う。 ・ 記録作成等において、環境管理責任者の補助を行う。 ・ 負荷チェックの集計を行う。
全 社 員	・ EA21マネジメントシステムへの理解。 ・ 各個人における環境活動の実施。
建設現場責任者	・ 建設現場における、実施責任者である。 ・ 協力業者への指揮監督を行う。

3.環境経営方針

■ 企業理念

私たち株式会社 木村組は、『信頼される企業・社会貢献の精神』を社是として、顧客満足度の高い品質の提供を行うと共に環境保全の重要性を認識し、事業を通じて環境負荷の低減と資源のリサイクル活動の積極的な推進を図り、取引先の信用と社会的責任を果たし社会に貢献します

■ 環境経営方針

当社は、環境理念に基づいた以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します

1 顧客の要求する品質と性能を確保した提供に取り組めます

- ① 土木・農林土木工事成績評定点の目標に取り組めます
- ② 優良工事表彰の獲得に取り組めます
- ③ 契約工期 1週間前の 施工完了に取り組めます
- ④ 労災事故及び公衆災害の防止に取り組めます

2 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量等の削減に取り組めます

- ① 電力・ガソリン・軽油の使用量の削減に取り組めます
- ② 産業廃棄物の3R活動に取り組めます
- ③ 節水による水使用量の削減に取り組めます
- ④ 化学物質使用量については適正使用量を遵守します
- ⑤ 自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善に取り組めます

3 環境関連法規等の遵守

4 環境コミュニケーションの実施

- ① 環境方針及び環境活動レポートの公表します
- ② 地域ボランティア活動への積極的な参加いたします
- ③ 社内において全社員に環境方針を周知させて取り組めます

制定：平成23年10月20日

改訂：令和4年7月10日

株式会社 木村組

代表取締役 木村紘子

4.環境経営目標

■ 環境目標を平成29年度（66期）の実績を基に下記の様に定め推進する。

項目		単位	基準	目標値	71期目標	目標値	72期目標	目標値	73期目標
			66期実績		R4. 6. 1-R5. 5. 31		R5. 6. 1-R6. 5. 31		R6. 6. 1-R7. 5. 31
二酸化炭素総排出量		kg-co2	144, 819	-5%	137, 578	-6%	136, 130	-7%	134, 682
エネルギー	購入電力 ※1	k w h	48. 08	-5%	45. 68	-6%	45. 20	-7%	45
	化石燃料								
	ガソリン	ℓ	8, 667	-5%	8, 234	-6%	8, 147	-7%	8, 060
	軽油	ℓ	39, 402	-5%	37, 432	-6%	37, 038	-7%	36, 644
一般廃棄物		t	0. 24	-5%	0. 23	-6%	0. 23	-7%	0. 22
産業廃棄物 (再資源化率)		%	100. 00	-	95%以上	-	95%以上	-	95%以上
水使用量		t	628. 00	-5%	596. 60	-6%	590. 32	-7%	584. 04
工事評価点のUP		点	82点	表彰 1	82. 5点以上 表彰工事 1	表彰 1	82. 5点以上 表彰工事 1	表彰 1	82. 5点以上 表彰工事 1
地域貢献		件	4件	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上

※1 購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力2017年度の0. 472Kg-Co/kwhを使用した

- 購入電力については本社電力のみとする。現場購入電力については受注工事の規模・施工方法等により大幅な増減となり、毎年1%ずつ削減していく目標値との整合が難しいためチェック表のみの記載とする
- 再資源化率は68期以降再生資源比率の適正な数値へ修正し95%以上の目標とする
- 化学物質は使用していない

5.環境経営計画【期間：令和4年6月1日～令和5年5月31日】

項目	活動内容	担当者・実施者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
二酸化炭素排出量の削減	電灯スイッチに節電喚起の表示を貼る	辻川喜弘												
	仕事に不要な箇所の照明を消す	全社員												
	OA機器を省エネモードに切り替える	全社員												
	広幅コピーは使用時以外は主電源を切る	窪田 恵												
化石燃料の使用量削減	カーエアコンの使用を抑える	全社員												
	タイヤの適正空気圧の確認	全社員												
	急発進・急加速の防止	全社員												
	建設機械のアイドリングストップの徹底	現場代理人												
	過積載の禁止	現場代理人												
産業廃棄物排出量の削減	コピーにリセット喚起の表示を貼る	辻川喜弘												
	使用可能な封筒のリサイクル奨励	全社員												
	ミスコピー紙のリサイクル(メモ紙等に)奨励	全社員												
	産業廃棄物の分別処分の徹底	現場代理人												
	建設廃棄物のマニフェスト管理の実施	現場代理人												
水使用量の削減	漏水の点検実施	辻川喜弘												
	洗車等の節水実施	全社員												
	手洗時の節水実施	全社員												
工事評価点のUP	契約書類の正確な処理を行う	総務部												
	着工前検討会 安全講習を行う	全社員												
環境上の緊急事態への準備及び対応	[本社]火災発生時に初期消火訓練	辻川喜弘												
	[建設現場]豪雨による泥水流出防止訓練	現場代理人												
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	基礎砕石については、可能な限りリサイクル砕石を使用する	現場代理人												
	下層路盤材については、可能な限り再生路盤材を使用する	現場代理人												
地域清掃ボランティア活動への積極的な参加	静波海岸の清掃他ボランティアに継続して参加する（実施のあった都度）	全社員												

6. 次年度環境経営計画【期間：令和5年6月1日～令和6年5月31日】

項目	活動内容	担当者・実施者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
二酸化炭素排出量の削減	電灯スイッチに節電喚起の表示を貼る	辻川喜弘												
	仕事に不要な箇所の照明を消す	全社員												
	OA機器を省エネモードに切り替える	全社員												
	広幅コピーは使用時以外は主電源を切る	窪田 恵												
化石燃料の使用量削減	カーエアコンの使用を控える	全社員												
	タイヤの適正空気圧の確認	全社員												
	急発進・急加速の防止	全社員												
	建設機械のアイドリングストップの徹底	現場代理人												
	過積載の禁止	現場代理人												
産業廃棄物排出量の削減	コピーにリセット喚起の表示を貼る	辻川喜弘												
	使用可能な封筒のリサイクル奨励	全社員												
	ミスコピー紙のリサイクル(メモ紙等に)奨励	全社員												
	産業廃棄物の分別処分の徹底	現場代理人												
	建設廃棄物のマニフェスト管理の実施	現場代理人												
水使用量の削減	漏水の点検実施	辻川喜弘												
	洗車等の節水実施	全社員												
	手洗時の節水実施	全社員												
工事評価点のUP	契約書類の正確な処理を行う	総務部												
	着工前検討会 安全講習を行う	全社員												
環境上の緊急事態への準備及び対応	[本社]消防活動	辻川喜弘												
	[建設現場]重機の整備確認、発電機作動確認	現場代理人												
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	基礎砕石については、可能な限りリサイクル砕石を使用する	現場代理人												
	下層路盤材については、可能な限り再生路盤材を使用する	現場代理人												
地域清掃ボランティア活動への積極的な参加	静波海岸の清掃他ボランティアに継続して参加する（実施のあった都度）	全社員												

7.環境経営目標実績

■実施期間 71期（令和4年6月1日～令和5年5月31日）

現場使用の電気量については、建設工事の施工概要によりエネルギー使用量の増減が大きく変化するため環境に配慮した作業方法、環境対策、工法等を着工前会議等で確認を行い環境対策に取り組んでいきたい。

項目		単位	基準値	目標値	71期目標	71期実績	目標達成率	結果及び評価	
			66期実績						
二酸化炭素総排出量		kg-co2	144, 818. 95	-5%	137, 578	95, 737. 00	151. 3%	○	
エネルギー	購入電力	k w h	48, 083. 00	-5%	45, 679	39, 512. 000	121. 7%	○	
	化石燃料 ガソリン	ℓ	8, 667. 81	-5%	8, 234	5, 945. 66	145. 8%	○	
	軽油	ℓ	39, 402. 36	-5%	37, 432	21, 225. 46	185. 6%	○	※1
一般廃棄物		t	0. 235	-5%	0. 22	0. 144	163. 2%	○	
産業廃棄物 (再資源化率)		%	100. 00	-	95%以上	97. 30%	102. 0%	○	※2
水使用量		t	628. 00	-5%	596. 60	587. 00	107. 0%	○	
工事評価点のUP		点	82点	+0. 5点以上	82. 5点以上	平均 81点	98. 2%	×	※3
環境上の緊急事態への準備及び対応		回	本社 1回 現場 1回	毎年 各1回以上	各1回以上	各1	100. 0%	○	
地域貢献		件	4件	毎年 1件以上	1件以上	1	100%	○	

※1 受注工事内容により、軽油の使用量が大幅に減少

※2 汚れのある廃プラは焼却処分となり再資源化ができなかったため

※3 工事規模の縮小により加点取得が難しい現状であるため、評価点UPに向け社内で検討し改善が必要である

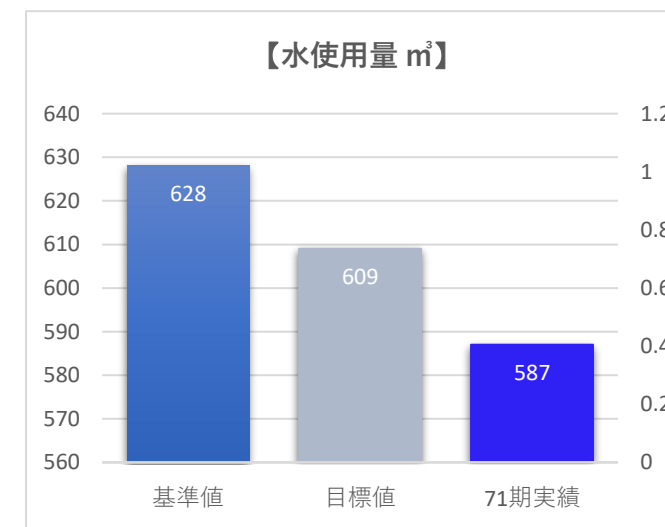
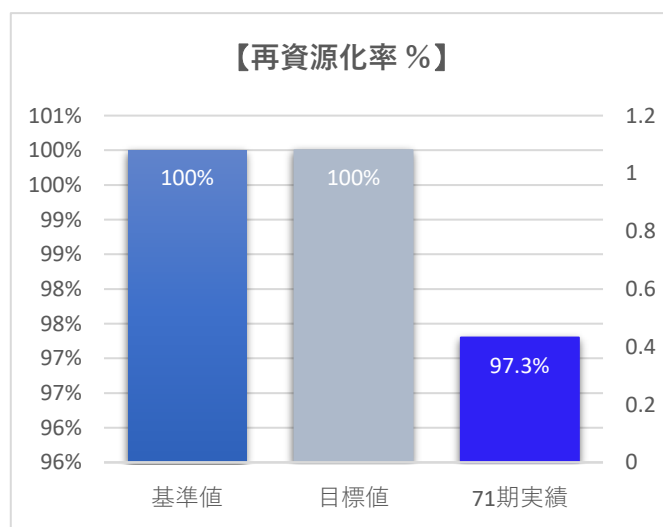
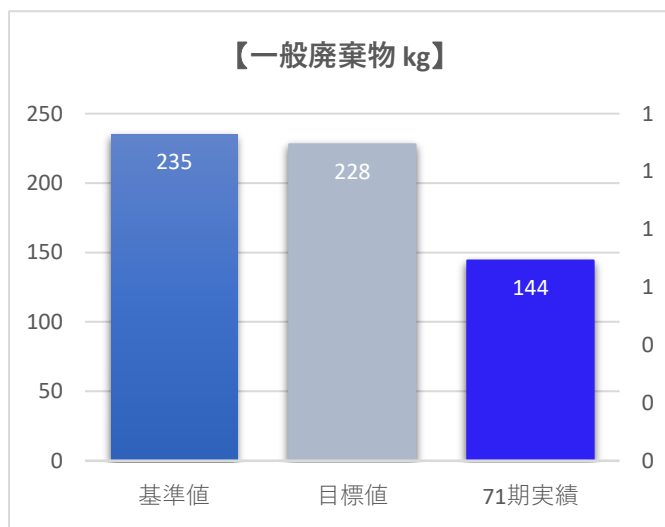
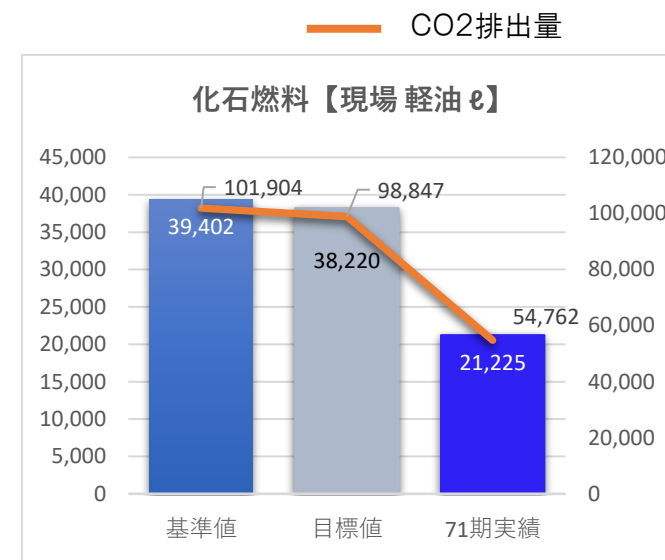
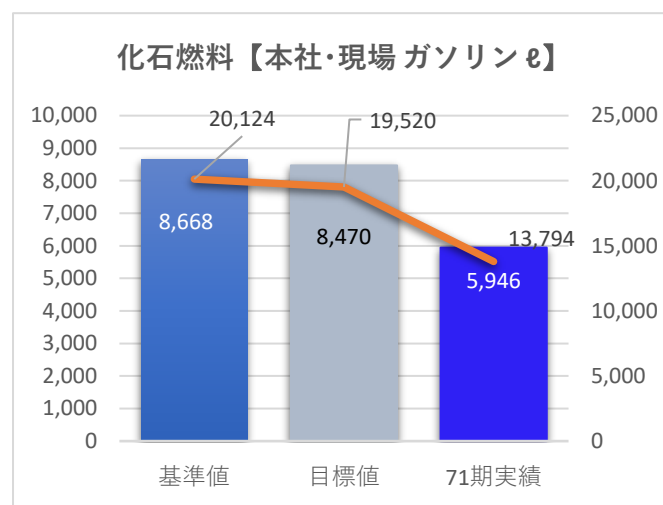
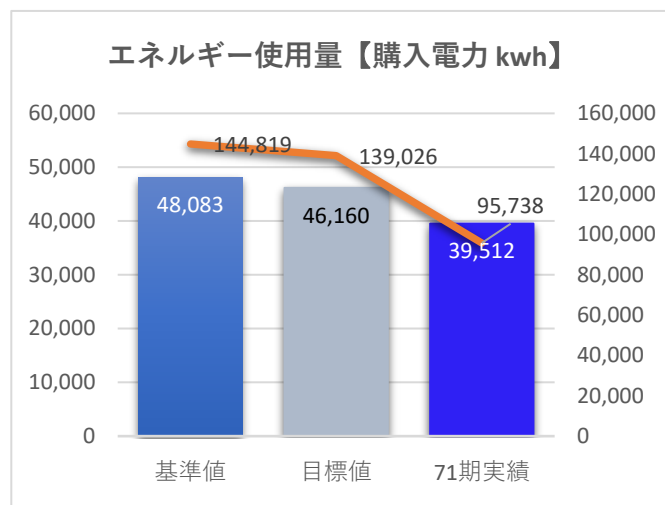
- 一般廃棄物、水使用量については前年に引き続き目標を大幅に上回る結果であり意識の定着がみられる
- 購入電力については本社電力のみとする。現場購入電力については受注工事の規模・施工方法等により大幅な増減となり、毎年1%づつ削減していく目標値との整合が難しいためチェック表のみの記載とする

○：目標を達成

△：目標達成であったが検討あり

×：目標未達

7-1. 環境経営目標実績グラフによる分析



8.取組結果とその評価・次年度の取組内容

項目	活動内容	実施状況	取組内容の評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電灯スイッチに節電喚起の表示を貼る	○	節電喚起の表示等の実施によって 2 F 事務所・会議室等不要な箇所の消灯 離席時の消灯の意識が定着してきている。2 F 通路の照明は人感センサーライトに変更し 不要な電力削減になった。	継続して実施する
	仕事に不要な箇所の照明を消す	○		
	ＯＡ機器を省エネモードに切り替える	○		
	広幅コピーは使用時以外は主電源を切る	○		
化石燃料の使用量削減	カーエアコンの使用を控える	○	各自 化石燃料削減を意識した運転に取り組 んでいる。 建設機械の過積載の禁止も徹底できている。	継続して実施する 建設工事の施工概要によりエネルギー使用量 の増減が大きく変化するため環境に配慮した 作業方法、環境対策、工法等を着工前会議等 で確認を行い環境対策に取り組んでいきた い。
	タイヤの適正空気圧の確認	○		
	急発進・急加速の防止	○		
	建設機械のアイドリングストップの徹底	○		
	過積載の禁止	○		
産業廃棄物排出量の削減	コピーにリセット喚起の表示を貼る	○	事務所及び作業所ともに分別処分の徹底、リ サイクルへの取組が行われている。	継続して実施する
	使用可能の封筒のリサイクル奨励	○		
	ミスコピー紙のリサイクル(メモ紙等に)奨励	○		
	産業廃棄物の分別処分の徹底	○		
	建設廃棄物のマニフェスト管理の実施	○		
水使用量の削減	漏水の点検実施	○	漏水の点検 1月、5月に実施済み	継続して実施する
	洗車等の節水実施	○	各自節水に取り組めている	
	手洗・食器洗時の節水実施	○		
グリーン購入推進への取組	事務用紙製品は再生紙の使用を奨励	○	事務用品等は可能な限りリサイクル品を使用	継続して実施する
	事務用品・カートリッジ・梱包の再利用回収をしている製品を使用する	○		
工事評価点のＵＰ	契約書類の正確な処理を行う	○	契約書の不備がなくスムーズな契約ができた。着 手前検討会及び安全講習を行い品質向 上となった。	継続して実施する
	着工前検討会 安全講習を行う	○		
環境上の緊急事態への準備及び対応	[本社]火災発生時に初期消火訓練	○	R4.6.24 現場にて実施	継続して実施する
	[現場]豪雨による泥水流出防止訓練	○	R4.9.26 本社にて実施	
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能 の向上及び サービスの改善	基礎砕石については、可能な限りリサイクル砕石を使用する	○	設計書に従い可能な限り実施	継続して実施する
	下層路盤材については、可能な限り再生路盤材を使用する	○		
地域清掃ボランティア活動への積極的な参加	静波海岸の清掃他ボランティアに継続して参加する（実施のあった都度）	○	令和4年8月22日、23日、24日道路愛護活動 参加	継続して実施する

8-1.環境経営目標への取組状況②

■ 産業廃棄物排出量の削減



ゴミの分別を徹底。
ダンボール・新聞・雑誌等の資源は地域の
資源回収活動に参加し再資源化率100%

裏紙の再利用



FAXをデータ受信に変
更→必要文書のみ印刷



- ・ 2色（赤黒）印刷の活用
- ・ 工事提出書類の電子化による印刷物の削減

工事作業所 産業廃棄物の分別収集



事務所・各現場事務所で廃棄物の分別を実施

8-1.環境目標への取組状況③

■ 工事評価点のUPへの取組

着工前会議及び安全講習 (着工前検討会：都度 安全講習：毎月25日前後)



■安全パトロール報告

店社安全衛生管理者のパトロール報告

■営業報告

入札・落札等の報告

配置技術者の確認

■現場進捗状況報告

各現場代理人の報告(進捗状況等)

■工事完了報告

■総務部連絡事項

8-1.環境経営目標への取組状況④

■ 地域清掃ボランティア活動への積極的な参加

実施日時 令和4年8月22日、23日、24日
道路愛護活動に参加

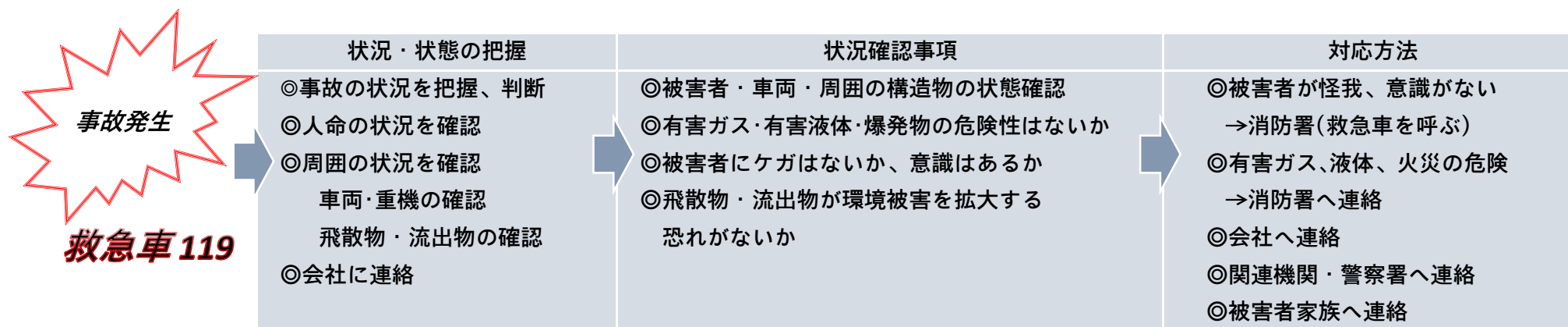


9. 環境上の緊急事態への準備及び対応及び手順

■目的 交通事故発生時及び現場作業事故発生時に人命救助はもとより、環境汚染につながる恐れのある状態を避けるため、緊急対応を適切かつ迅速に行う連絡・確認・緊急処理の方法を定める。

- 準備
- ・車両・重機、工具の日常点検を行う
 - ・エコドライブ10箇条の遂行、法定速度の厳守
 - ・KY活動
 - ・作業時は、周囲の状況・状態を十分に調査し、危険箇所、危険物・有害物・燃焼物並びに環境汚染を受ける物がないか確認する
 - ・過積載・荷崩れ等がないように確認を行うこと
 - ・重機作業時は作業範囲近くに有害物・危険物はないか、上空に配線配管・構造物はないか、地中に埋設物・埋設配管がないか等、十分に調査した上で省エネ運転で作業を行う
 - ・作業時は周囲の状況を十分に把握し、環境汚染が起こらない養生と起こった時にすぐに対処できるよう、対応資材・工具等を作業場に置く

■事故発生時の手順



9-1. 緊急事態の対応に関する訓練の実施①

- 実施日時 令和4年6月24日
- 実施場所 現場事務所
- 参加者 現場監督、下請負会社（有）松豊土木
- 訓練内容 豪雨によって現場の泥水が現場外へ流出する事を防ぐ

現場事務所にて緊急時対応の確認



安全確認後に対策作業開始



■ 手順書の有効性評価

手順書の変更（有・**無**）

災害時は第一に人命の確保を考え、災害の状況を十分に確認し、迅速に対応を行うこと。

作業員をはじめ 全関係者がしっかりと安全意識を持ち、二次災害を起こさないよう訓練を実施し確認を行えた。

各作業所ごとに緊急時対応を掲示



9-1. 緊急事態の対応に関する訓練の実施②

- 実施日時 令和4年9月26日
- 実施場所 本社
- 参加者 全員
- 訓練内容 消火訓練

原因及び訓練内容

【原因】

資材倉庫内のたばこの不始末による発火

【対処・訓練内容】

火元確認



①知らせる 大きな声でまわりに周知・会社へ報告



②消防署へ通報（119）



③初期消火活動



④避難誘導



⑤鎮火



⑥社員 安否確認

初期消火訓練 実施



■ 手順書の有効性評価

災害時は第一に人命の確保を考え、災害の状況を十分に確認し、迅速な対応を行うこと。

訓練を行うことにより火災時にパニックを起こさず、冷静な対応をとれるよう繰り返し行う必要があると感じる。

社員全員が火災時の対応について確認を行うことができ有効であった。

手順書の変更（ 有 ・ 無 ）

10.環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

環境関連法規等の取りまとめ・遵守状況

確認者： 辻川喜弘

遵守確認日： 令和4年7月1日

法律・条例・規則	要求事項・責務	条項	具体的確認内容 ○紙マニフェスト●電子マニフェスト（※JWNET：情報処理センター）	遵守状況
廃棄物処理法 （廃棄物の処理および清掃に関する法律）	処理業者との委託契約	第12条の2	契約書の締結・許可証の確認	○
	マニフェスト伝票の交付	第12条の3	○都度、伝票の発行 ●引渡し日から3日以内に、マニフェスト情報をJWNETに登録	
	マニフェスト伝票の保管		○A. B 2. D. E 票を5年間保管 ●マニフェストの保存不要。JWNETが保存	
	マニフェスト伝票の交付状況報告		○1年間の実績を作成し知事宛に報告 ●JWNETが県に報告する。 報告不要	
	マニフェストの確認		○処理終了後確認し、A票の照合確認欄に返却日を記載 ●JWNETから終了報告の通知にて確認	
	多量廃棄物排出報告書の届出	第12条	業廃棄物の前年度の発生量が合計1,000トン以上の場合届出書の提出(届出6月末)	—
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物の適正な処理		産業廃棄物責任者を置く	○
			処理委託先の実地確認とその記録	
建設リサイクル法 （建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）	対象建築工事の分別解体、	9条,16条,33条	現場における標識の掲示、	○
	および再資源化の義務付け		分別、再資源化の適正処理	
建築基準法	建築基準法の遵守	89条、102条	確認済であることの表示板の提示	○
		15条	建築工事届の提出	
浄化槽法	浄化槽管理者に浄化槽の維持管理の為保守点検の実施並びに法定検査の義務付け(法定検査(第11条)の実施(1回/年))	10条,11条	定期清掃（1回/年）年4回の点検記録（1月、4月、7月、10月）法定検査（11条）	○
騒音規制法	騒音規制基準の遵守	14条	対象特定建設作業の届出	—
振動規制法	振動規制基準の遵守	14条	対象特定建設作業の届出	—
自動車リサイクル法 （使用済自動車の再資源化等に関する法律）	車両入替時、適正に処理	8条		○
家電リサイクル法	廃棄時に適正に処理	第2条第4項		○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理者の役割	16条	エアコンの点検 3か月に一回 廃棄時のフロン回収処理	○
リサイクル法 （資源の有効な利用の促進に関する法律）	材料使用の合理化及び資源再生	4条	再生資源、物品の利用 パソコン	○
労働安全衛生法	健康の保持増進のための措置	65条の2	有害な業務を行う作業場では、必要な作業環境測定を行い、その結果の記録をとる	○
市町条例	指定する方法によりごみ収集に協力	4条	分別容器の設置	○

●環境関連法規への違反はありません

●現在まで、いずれの法規においても過去3年間に関係諸機関からの指導・違反等の指摘は無く、訴訟等もありません。

「○」：遵守

「—」：今年度は該当なし

11.代表者による全体評価と見直し

■ 対象期間 令和4年6月1日～令和5年5月31日

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項目		確認: (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	EA21文書		
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	:
	3	環境経営活動計画及び取組実施状況	☒	:
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	☒	:
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	:
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	☒	:
	7	取引先、業界、関係行政機関その他の外部動向	☒	:
	8	その他	☒	:
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	全体評価コメント (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)		目標の達成に向け、社員一同の努力と環境への意識が感じられる。 工事の着工前検討会及び安全講習を定期的に行い、施工方法、使用機械等の検討を十分に行い 高い品質の提供と環境負荷の低減を継続して行うこと。 重点改善項目である「工事評価点UP」は未達であり、自社の強みである技術力で顧客満足度の高い品質の提供 を行えるよう努力を続けること。 評価点UPとなる加点の取得に向けて社内で十分検討し目標達成にむけ努力を行う。	
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	無	無し
	2	環境経営目標	無	無し
	3	環境経営活動計画・取組項目	無	無し
	4	環境に関する組織	無	無し
	5	その他のシステム要素	無	無し
	6	その他(外部への対応等)	無	無し

実施日：令和5年7月4日

株式会社木村組 代表取締役 木村紘子